

## 児童生徒の興味関心を高める出前授業「ワクワク考古楽」

埋蔵文化財センター

### 「ワクワク考古楽」の目的

県内の遺跡から出土した本物の遺物に触れ、学ぶことをとおして、児童生徒が郷土の歴史や文化を身近に感じ、より深く理解することをねらいとしています。

さらに、地域の史跡や文化財を活用した学習活動をそれぞれの学校で独自に行うための授業支援も行っています。授業や授業支援にあたっては、学習指導案を作成し、その後の授業展開への活用が図られるよう、成果を資料化しています。これらの活動を通じて、未来を担う子どもたちが、郷土の歴史や文化に誇りをもち、郷土を愛する心が育つことを目指します。

小中高、それぞれの学習内容や進度に柔軟に対応した出前授業の実施が可能です。本物の資料を授業に活用したい方は、埋蔵文化財センターへ御相談ください。

### 「ワクワク考古楽」出前授業

埋蔵文化財センターの専門職員が、実際に県内で出土した「本物」の遺物と写真等の資料を持って学校へ伺い、これを活用して各校の授業内容や進度に合わせた出前形式での授業を行います。

普段は、博物館のガラスケース越しにしか見ることができない本物の土器や石器に触れる体験をおとして、子どもたちは先人の技術や知恵を自らの手で感じ取り、感動とともに先人たちが残した郷土の歴史や文化について学ぶ機会となります。



【本物の土器や石器に触れる体験】

### 子どもたちの声

昨年度の「ワクワク考古楽」は、県内の小中高校あわせて11校で授業支援等を実施しました。

子どもたちの感想を紹介します。

●縄文土器と須恵器に触って比べてみたら、かなり丈夫さや触り心地が違って、時代の流れを感じた。また、何もないところから道具を作った昔の人々はすごいなと感心した。いつも通学している場所のすぐ横に遺跡があったことを初めて知り驚いた。

●時代の移り変わりによって、人の生活が変化していくことの面白さを知った。授業である程度の知識をつけていたことで、より理解が深まった。

●鹿児島県にこんなに遺跡があることを知って驚いた。一つ一つの遺跡からどんな生活をしていたか、どんな特徴があったのかなど、わかるのが改めてすごいと思いました。



【専門職員による授業】

### まいぶんキット貸出し事業

埋蔵文化財センターでは、ワクワク考古楽以外にも、本物の土器や石器などの遺物をセットにして貸し出す事業も行っています。

子どもたちが触れることを前提に遺物を選んでセットを作っています。縄文時代や弥生時代、平安時代など授業進度や学習課題に合わせたセットを組むこともできます。また、調査中の遺跡での発掘体験も各地で実施しています。